広告特集 九州・山口・沖縄の大学力 2019 | 世界課題に向き合う大学のメッセージ

4 質の高い教育をみんなに　8 働きがいも経済成長も　9 産業と技術革新の基盤をつくろう　11 住み続けられるまちづくりを

九州産業大学

産業界を牽引する「国際的教養人」へ

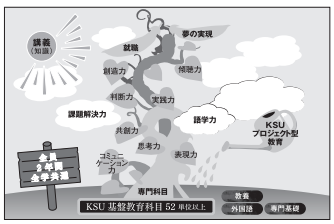
一つのキャンパスに10学部・大学院5研究科を擁する九州産業大学では、「産学一如」の建学の精神のもと、地域社会と緊密に結びつつた実践型教育に傾注してきた。これまで約12万人もの卒業生が多様な分野で活躍し、「現場に強い人材」との評価を得ている。近年は、めまぐるしい社会変化に対応した学部再編も進んでおり、総合大学としてのポテンシャルをいかんなく発揮している。

教養教育、英語教育、キャリア教育 独自の「KSU基盤教育」

どんな分野であれ、優れた社会人としての基礎となるのが、幅広い教養と総合的な判断力、そしてコミュニケーション力に富んだ豊かな人間性である。その力を育むのが、九州産業大学独自の教育プログラム「KSU基盤教育」だ。学部ごとに展開される「専門基礎科目」と全学共通の「教養科目」「外国語科目」とで構成されるプログラムで、入学から卒業に至るまで、入門→基礎→応用というように体系的に学修できるのが特徴だ。

教養科目は、学部・学科を超えて受講できるようになっているため、他学部との交流が図れるのも大きなメリットとなる。さらに、国語や数学、歴史、憲法、心理学などのコア科目をしっかり学ぶことで、高校の学びから大学の学びへのスムーズな移行を実現している。今後は、インターネットなどのICT（情報通信技術）を活用するためのリテラシー教育にも領域を広げていくという。

全学生が4年間にわたって履修する外国語科目も独特だ。自分のレベルにあった授業で英語力を伸ばせるよう、能力別に55段階以上ものきめ細かなクラスに分類。少人数クラスでの外国人講師による英会話中心の授業で、実用的な英語力を身に付けることができる。



KSU基盤教育

学部学科の枠を越えた 約110のプロジェクトを展開

九州を基盤とした地域密着型大学を目指す同大学が最も力を入れているのが、地域や行政の要望に学生が応えるKSUプロジェクト型教育」だろう。学びの場は、地元企業や自治体など実社会の「現場」。ここで学生たちは他学部の仲間や社会に活躍するプロフェッショナルと連携してプロジェクトを立ち上げ、地域の活性化や製品開発といった課題に取り組む。

八代市での「柚子の泉」完成報告会の様子

今年2月には、同大学と熊本県八代市、（株）食品計画の産学官連携によって、新しい八代特産品が誕生した。八代産ユズを使ったアイスクリーム「柚子の泉」だ。生命科学部食品科学コースの学生を中心とするサークル「食品開発研究会」では、これまでも地元農家や企業と連携し、「みかんワイン」や「トマトドッシング」などを開発してきた。今回は無添加にこだわって商品を開発し、ユズの清涼感あふれるアイスを完成させた。今後も日本有数の学内食品加工プラントや最先端の食品開発ラボを活用し、九州農業の6次産業化を支援する方針だ。

ビジネスの現場で難題に直面し、いろいろな人と協働しながら解決策を導いていくプロセスには、挫折やつまずきもあることだろう。しかし、そうした壁を乗り越えることで、学生たちは実社会の課題に対応する能力をしっかり身に付けていくに違いない。

7年連続過去最高の 就職決定率

就職率98・7％（2019年就職決定者1855人）就職希望者1880人）と7年連続で過去最高の就職決定率を更新。就職に強い大学として認知されている同大学だが、その根幹となっているのが充実したキャリア教育である。入学直後から授業で「キャリア形成基礎論」を開講し、将来を見据えたキャリア教育を徹底。さらに、キャリア支援センターを拠点に、3年生の後期にも就職活動に向けた具体的な対策を行いキャリア形成の総仕上げを行う。

年2回実施されるインターンシップには、授業で実施するインターンシップを含め約550人（2018年度）の学生が参加。学内での企業説明会には853社が集結するなど、仕事や企業との出合いの機会も数多い。地域企業とのつながりが深い同大学だからできる就職支援といえよう。

就職活動経験者の4年生からアドバイスを受けられる「ジュニア・アドバイザー制度」や、関東や近畿など遠方にある企業の採用試験に参加するための旅費の援助、女子学生向けの「メイク講座」など、物心両面でのきめ細かな就職サポートも心強い限りだ。

基礎力、実践力に加え、確かな就職力を身に付けた学生たちが、産業の未来を担ってくれることを同大学は願っている。

キャリア支援センターは、就職に関する資料や面接室などが完備されている

CLOSE UP

新たな知と地をデザインする大学へ

2020年で開学60周年を迎える九州産業大学は、この節目に向けて地域密着型大学を掲げ、全学に及ぶ大規模な学部再編などを次々と実施している。60周年記念事業の一環として、同年春には「大楠アリーナ2020」が完成予定。西日本最大級の広さを有し、5000人が一堂に会するメインフロアを備えた、地上3階建てのビッグアリーナだ。観客席は1000席。将来のトップアスリート育成を目指した最新のトレーニングルームや、1周270㍍のランニングコースを完備した施設である。

創立100周年へ向けたビジョン「新たな知と地をデザインする大学へ―もっと意外に。もっと自由に。―」が、早くも打ち出されている点も注目だ。榊泰輔学長は「今後はこのビジョンをもとに、グローバル化、AIやIoT、人生100年時代といったキーワードによって語られる時代の変革にどう対応し、学生に何を学ばせ、どんな力を身に付けさせるか。学部学科ごとにストーリーを描いてもらいたいと期待を寄せている。

同大学は13年に学生が地域と連携し課題解決などに取り組む「KSUプロジェクト型教育」、翌14年には全学共通で2年間、社会人としての土台となる教養や外国語、専門分野の基礎を学ぶ「KSU基盤教育」を導入するなど、教育改革を推進してきた。これと学部再編を併せた取り組みによって、志願者数は17年に1万人を突破、18年には1万1406人まで増加し、19年は前年比30％以上増加することが確実だ。新ビジョンによって、地域密着型大学としてどのような将来像を描いていくのかが注目される。

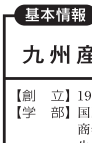
「大楠アリーナ2020」は、学生・教職員・地域の方の交流の場となることをめざす

在 学生から

幅広い知識を持った保育士として子どもや家族に頼られる存在に

昔から子どもが好きで、子どもの成長に関われる仕事に就きたいと思っています。九産大は幼稚園・保育園・特別支援とすべての資格が取れる点が魅力で、大学の就職率が高く、サポートがしっかりしている点にも惹かれました。また、新しい校舎に子育て支援施設を併設し、実習以外で地域の子どもたちと触れ合える機会にも恵まれています。新しい学科なので、私たちの手で新しい保育の形を作っていきたいと思います。

卒業後は障がい児や病児、乳児の知識を持った保育士になり、子どもたちはもちろん、ご家族の皆さんが笑顔でいられるように頼られる存在になりたいです。九産大は必要な知識や実習だけではなく、地域の子どもたちと関わることができるので、現場でしか気づけないことや保護者の方の声を聞ける環境が整っています。子どもの教育に関わりたい人には本当におすすめです。

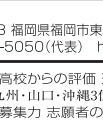

人間科学部 子ども教育学科 2年
岩木 夢華さん
（熊本県立第一高校出身）

卒 業生から

フォーミュラプロジェクトの経験が仕事に活きています

学生時代は一台のフォーミュラカーを学生主体で作り上げるプロジェクトに参加。「人と車両の融和」をコンセプトに、操作性、安全性、装備性を追求しました。大人数のメンバーとの製作過程では「遠慮しすぎても、自己主張しすぎてもうまくいかない」というコミュニケーションの難しさを経験しましたが、メンバー全員で粘り強く協力し合って、無事に車両を完成させたときは、大きな達成感がありました。

現在はダイハツ工業で「クレイモデラー」という職に就き、工業用粘土でクレイモデルという原寸大の自動車モデルを製作しています。製作したモデルが、ゆくゆくは商品となり、街中を走ることになります。設計者やデザイナーなど多くの人と協力しながら完成させていくので、コミュニケーションが大切。フォーミュラプロジェクトで学んだことが社会人になった今でも活かされています。


ダイハツ工業株式会社
畑田 紘志さん
2015年 芸術研究科 造形表現専攻修了

基本情報

九州産業大学（私）　〒813-8503 福岡県福岡市東区松香台2-3-1　☎092-673-5050（代表）　https://www.kyusan-u.ac.jp/

【創　立】1960年
【学　部】国際文化学部、人間科学部、経済学部、商学部、地域共創学部、理工学部、生命科学部、建築都市工学部、芸術学部
併設校：九州産業大学造形短期大学部

【高校からの評価 進路支援が充実】
九州・山口・沖縄3位
【募集力 志願者の推移（2018年度と2014年度の比較）総志願者の増加数】九州2位
【社長の出身大学 全企業】九州・山口・沖縄3位
（いずれも『大学ランキング2020版』より）

OPEN CAMPUS 2019

［開催場所］本学キャンパス
7/21 SUN 09:30▶15:00
［9:00から随時受付］
九州産業大学造形短期大学部も同時開催

［開催内容］
●模擬講義
●各種体験実習 など
●保護者対象講演会
①10:00▶10:50
②13:00▶13:50

自己推薦選抜（AO）入試
《課題解決型1次》願書受付 8/1(木)～8/5(月)
《育成型1期》面談申込 7/22(月)～7/31(水)

1日大学生になろう。
1日限定 高校生に向け実施
WEEKDAY CAMPUS VISIT 2019
九州産業大学のきょうVO

高校生が普段の大学生と一緒の授業を受け「1日大学生」を体験するWCV（ウィークデー・キャンパス・ヴィジット）は、九州で初めて九産大が導入した進路発見型プログラムです。学部・学科のミスマッチ防止や、進路・志望校選びの機会としてぜひ活用してください。

開催日 ※お申込みはHPから　9/23 MON　10/14 MON

大学を知る8つのステップ［WEEKDAY CAMPUS VISITの流れ］

1 応募する
WEEKDAY CAMPUS VISITにmailもしくはFAXで申し込みましょう！友達と一緒に参加して授業を受けてみるのも面白いかも？

2 大学に行く　9:15 時間厳守!
当日は私服で大学に来ましょう。ガイダンスは遅刻厳禁!時間に余裕をもって行動しましょう。ノートと筆記用具も忘れないように注意しましょう。

3 ガイダンス
大学に対するイメージを共有したあと、授業内容を説明します。その後、授業を2つ選ぶことができます。実際の大学と学部について確認しましょう。

4 授業を受ける　10:40 教室へGO
先輩たちと一緒に授業を受けて、学部・学科、授業内容など具体的なイメージをつかみましょう。

5 ごはんを食べる　12:10 いただきます
WEEKDAY CAMPUS VISITでは学生食堂で食事をすることができます。一緒に授業を受けた先輩たちや同じ学科を目指す人と仲良くなれるかも？

6 授業を受ける　13:00 遅刻厳禁
今度は違う授業を受けてみましょう。学科ごとの授業内容の違いなど新しい発見ができるはず!

7 振り返りワーク　14:40 共有タイム
1日を振り返って、授業について、大学について思ったことや気づきをみんなで共有しましょう。

8 進路決定!?　15:50 終了予定
WEEKDAY CAMPUS VISITには何回でも参加できます。色々な学部・学科を見てやりたいことを決めましょう。

GO to 2020

お問い合わせ
オープンキャンパス（入試課）TEL.092-673-5550　ウィークデー・キャンパス・ヴィジット（教務課）TEL.092-673-5072
〒813-8503 福岡市東区松香台2-3-1　［交通案内］JR鹿児島本線「九産大前駅」下車、徒歩1分。西鉄バス 都市高速経由「九州産業大学南口」下車、徒歩1分。

KSU KYUSHU SANGYO UNIVERSITY 九州産業大学